

臨床検査専門科目	臨床病態学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	必修					
科目名	臨床病理学総論Ⅱ					
担当教員	◎畑中徳子 松尾収二					
目的	<p>検査データから病態・疾患を推測するために必要な知識および検査の読み方・使い方を学ぶ。その際、解剖生理、病態生理、病気、検査の意義等幅広い知識が必要となるため、随時、事例を提示し質疑応答を加えながら学ぶ。</p> <p>検査データの読み方・使い方について、血液・造血機疾患、内分泌、腎・尿路、体液・電解質・酸塩基平衡、神経・運動器、アレルギー・膠原病・免疫異常、内分泌、悪性腫瘍の検査の読み方・使い方について、適宜、症例を加え、解析しながら学ぶ。</p>					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患、病態に応じた検査の使い方（適応）が理解できる。 ・基本的な検査項目の意義が理解できる。 ・基本的な検査データを読むことができる。 					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ～Ⅵ、病理学、微生物検査学等の専門科目					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座 臨床医学総論/臨床検査医学総論（医歯薬出版）：前期購入済					
参考資料	標準臨床検査医学（医学書院 第4版 2013年）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	適宜、資料を用いる（e-ラーニング掲載、もしくは印刷物配布）。					